

KENWOOD

3D スピーカーシステム

LS-SA9

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



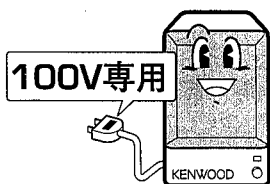
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

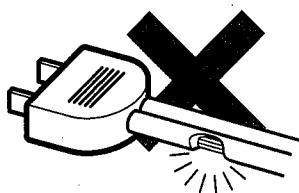
100V以外の電圧では使用しない

一般家庭の電源（交流100ボルト）以外の電圧では使用しないでください。
《火災、感電の原因になります》



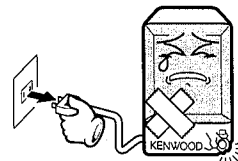
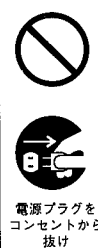
傷んだ電源コードは使用しない

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
●交換をご依頼ください。



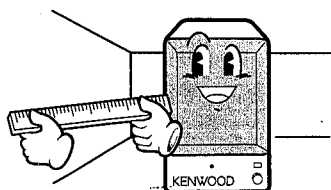
落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●点検、修理をご依頼ください。



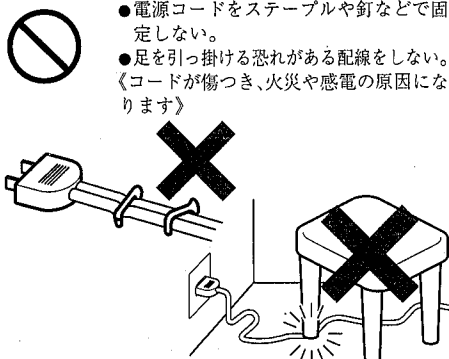
放熱に注意

設置の際は、熱がこもらないよう壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。
●押し入れや本箱に押し込まないでください。
●横倒し、あおむけ、逆さまには置かないでください。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



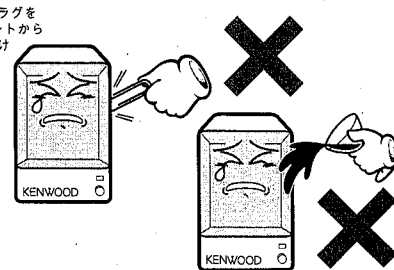
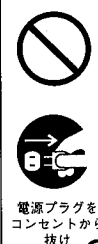
電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。
●電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
●電源コードをステープルや釘などで固定しない。
●足を引っ掛けられる恐れがある配線をしな。《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



水や異物を入れない

機器の内部に、水や、異物・紙などの異物を入れないでください。
《火災や感電の危険があります》
●入ってしまったら、ただちに使用を中止してください。
●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●点検、修理をご依頼ください。



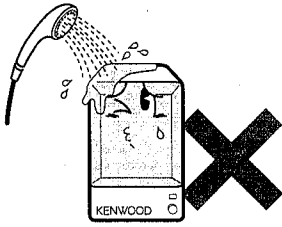
警告

風呂場では使用しない



水場での
使用禁止

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

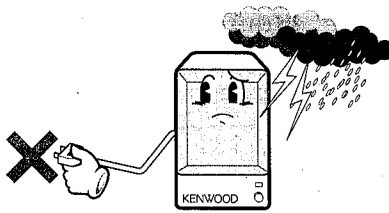


雷が鳴り始めたら



接触禁止

電源プラグには触れないでください。
《感電の危険があります》

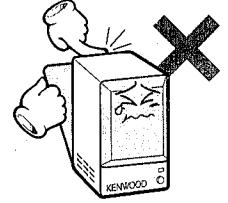


ケースを絶対に開けないでください



分解禁止

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》
●点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



異常かな?と思ったら

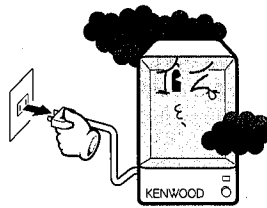


煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



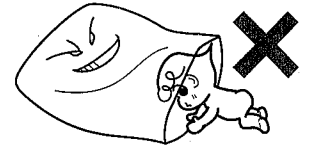
電源プラグを
コンセントから
抜け



ビニール袋に注意



ビニール袋は、子供や幼児の手の届かない所にかたづけ、かぶって遊んだりしないようご注意ください。
《窒息の危険があります》

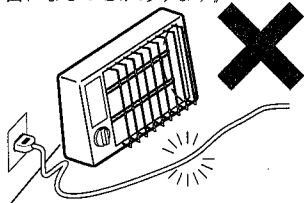


注意

電源コードは熱器具に近づけない



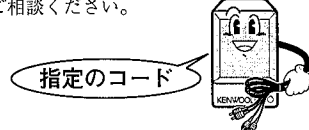
電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近づけないでください。
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

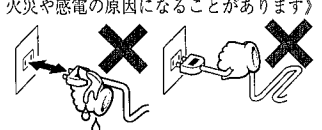


電源プラグの抜き差しは



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

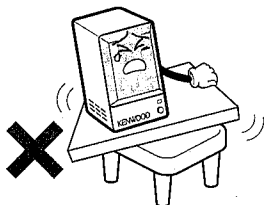
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分を引き張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



不安定な場所には置かない



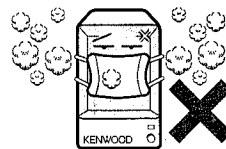
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所には置かない



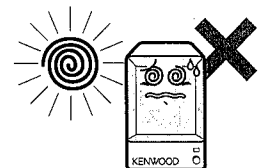
油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
《火災や感電の原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない



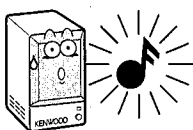
直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



音量に気をつけて



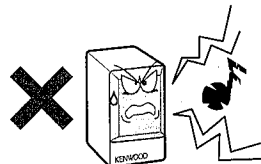
電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》



異常な音を出し続けない



スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。
《発熱し、火災の原因となる場合があります》

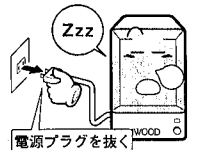


長期間使用しないときは



電源プラグを
コンセントから
抜け

長期間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると、火災の原因になることがあります》

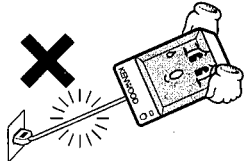


⚠ 注意

機器を移動させる際は



移動の前に、電源スイッチを切ってください。また、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどははずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



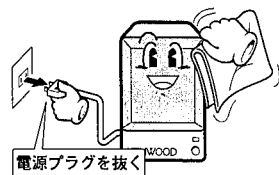
お手入れの際は



電源プラグを
コンセントから
抜け



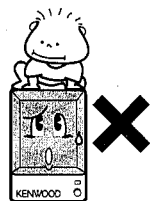
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》
3年に1度くらいは、機器内部の点検、清掃をご依頼ください。湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、特に効果的です。
《内部にはこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》



上にのらない



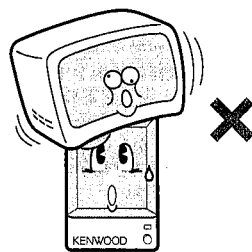
特にお子様が上に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指定以外のものを載せない



特に指定のない場合でも、ぐらつくような重いもの、また外枠からはみ出るような大きいものを載せたり、置いたりしないでください。
《くずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります》



ご使用の前に

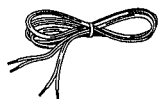
- 包装ケースはぜひ保管されて、修理サービスや移転などのとき、スピーカーシステムを保護するためにご利用ください。

■システム構成

- サテライトスピーカー部（中、高音域再生用） 2台
- アンプ内蔵スーパーウーファー部（低音域再生用） 1台
本システムにはサテライトスピーカー用のアンプは搭載されていません。別にご用意ください。

■付属品

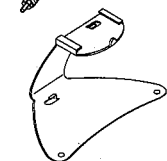
- スピーカーコード（長さ3m 4本）



- ピンプラグ付コード（スーパーウーファー接続用）
（長さ3m 1本）



- サテライトスピーカー用スタンド
（2個）



- サテライトスピーカー用取付金具セット
（金具 2個）
（ねじ 4本）



■セットのお手入れ

キャビネットなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

■使用上のご注意

- このスピーカーシステムの定格インピーダンスは6Ωです。ご使用になるアンプの規格を調べて、6Ωの負荷インピーダンスが使用できることを確認してください。
- このスピーカーシステムの最大入力30Wです。過大な入力をスピーカーに加えると、音質をそこねたり、故障の原因となることがありますので、次のことに十分ご注意ください。

ご注意：

1. スピーカーシステムの、最大入力以下の出力のアンプをご使用になるときでも、ボリュームをあげ過ぎると、アンプの出力が歪み過大入力となります。ボリュームをあげ過ぎないでください。
2. アンプのトーンコントロール（BASS、TREBLE）やラウドネスコントロールなどで、低音域や高音域のレベルを大幅にあげた状態で、ボリュームをあげ過ぎないでください。
3. FM放送の周間ノイズや、テープの早送りによる高調波成分を含んだ信号等を、連続して加えないでください。
4. アンプのスイッチを切り換えるときや、レコード盤に針をおろすときは、アンプのボリュームを最小にしてください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮も十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

設置のしかた

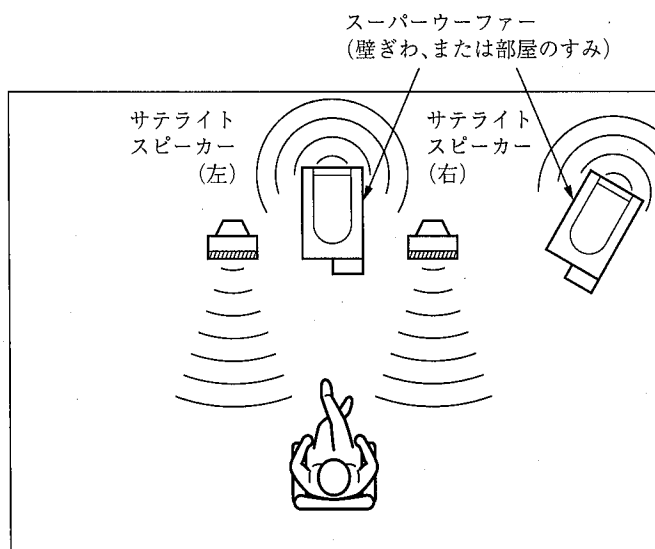
■設置上のご注意

1. このスピーカーシステムは必ず水平で安定した場所に設置して、転倒させないようにご注意ください。
2. スピーカーユニットに使われているマグネットは、強力な磁気を持っています。この磁気の影響で、カセットテープにノイズが入ったりすることがありますので、近づけないでください。
3. このシステムのスーパーウーファーの背面には、ダクトがついています。壁に密着させて置くと、ダクトがふさがれて、スーパーウーファーの性能が発揮されません。壁から10cm以上離して設置してください。

- このシステムのスーパーウーファーの特性は無指向性に近いため、センターシステム（アンプ、チューナー、カセットデッキなど）と一緒に並べたり、部屋の角など置き場所を選ばずにお使いいただけます。また、スーパーウーファーを部屋の角や、壁に近づけて設置すると、より豊かな超低音再生が可能となります。一般に音楽信号の超低音成分はモノラル信号なので、ステレオセットと組み合わせて使用するとき、スーパーウーファー1台で十分な音場効果を得ることができます。

■設置の一例

スーパーウーファーの配置は、部屋の大きさや残響特性などにより、いろいろな置き方が考えられます。ここに示した配置図は、スーパーウーファーをより効果的に楽しむための代表的な例です。これ以外にもいろいろな配置があります。お好みに合わせてセットしてお楽しみください。



- このシステムのスーパーウーファーは、ワイヤレスリモコン等での遠隔操作が行えないため、スーパーウーファー単独でのボリューム等の調整をひんぱんに行う場合は、操作しやすい場所に設置することをおすすめします。

■ハウリングについてのご注意

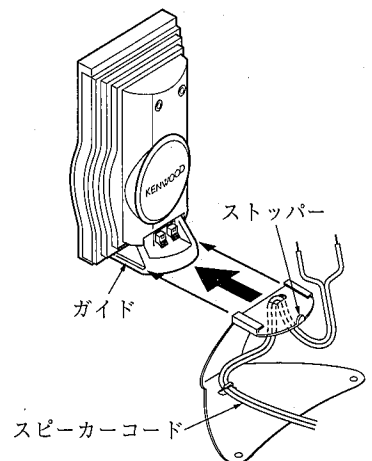
レコードプレーヤーのそばにスーパーウーファーを設置すると、「ボワーン」というハウリング現象が起ることがあります。そのときは、レコードプレーヤーとスーパーウーファーの距離を離すか、スーパーウーファーの音量をさげて（VOLUME CONTROL ツマミを左にまわして）お使いください。また、ごくまれにカセットデッキや、コンパクトディスクプレーヤー、レーザーディスクプレーヤーでもハウリング現象により、音が歪んだり、画像が乱れることがあります。そのときも、スーパーウーファーとの距離を離すか、音量をさげてお使いください。

■サテライトスピーカーの設置のしかた

このシステムのサテライトスピーカーは、本体のみで設置する以外に付属品を使用することにより以下の設置方法で使用できます。

● スタンドを使用する場合

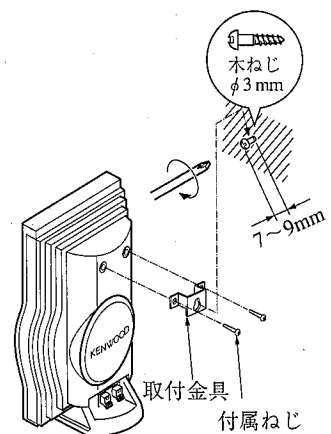
右図の様に、スタンドをスピーカーの背後からスピーカーのガイド部にスライドさせ取付けます。（スタンドのストッパーがスピーカーに当たるまでスライドさせてください）



● 壁に掛けて使用する場合

スピーカーの質量（重量）に耐えられるしっかりした壁に取り付けてください。

1. 右図の様に、スピーカーの背面に付属の取付金具を付属のねじを用いて固定します（取り付ける方向にご注意ください）。
2. 木ねじを壁に取り付け、ねじの頭を7～9mm浮かせます。
3. スピーカーに取り付けた取付金具の穴を木ねじに差し込みスピーカーを掛けます。スピーカーが確実に取り付けられたことを確かめます。



木ねじは付属されていません。
壁の材質にあった長さの市販の木ねじ（φ3mm）を購入してください。

■スピーカーの防磁とテレビについて

1. このスピーカーシステムは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビとスピーカーを離して設置してください。

接続のしかた

ご注意：

1. 接続を始める前に、アンプとスーパーウーファースの〔POWER〕ボタンを〔OFF〕にしてください。
〔POWER〕ボタンが〔ON〕のまま接続すると、アンプやスーパーウーファースが故障することがあります。
2. サテライトスピーカーの接続の際、端子とスピーカーコードの極性 (+)、(-) をまちがえて接続すると、音像が定まらず不自然な音になります。端子とコードの極性に注意して接続してください。
3. 接続される本体システムの付属リモコンユニットに、スーパーウーファース操作キー〔S.W.POWER, S.W.EFFECT, S.W.VOLUME〕がある場合でも、このシステムのスーパーウーファースはこれらのキーでは操作できません。

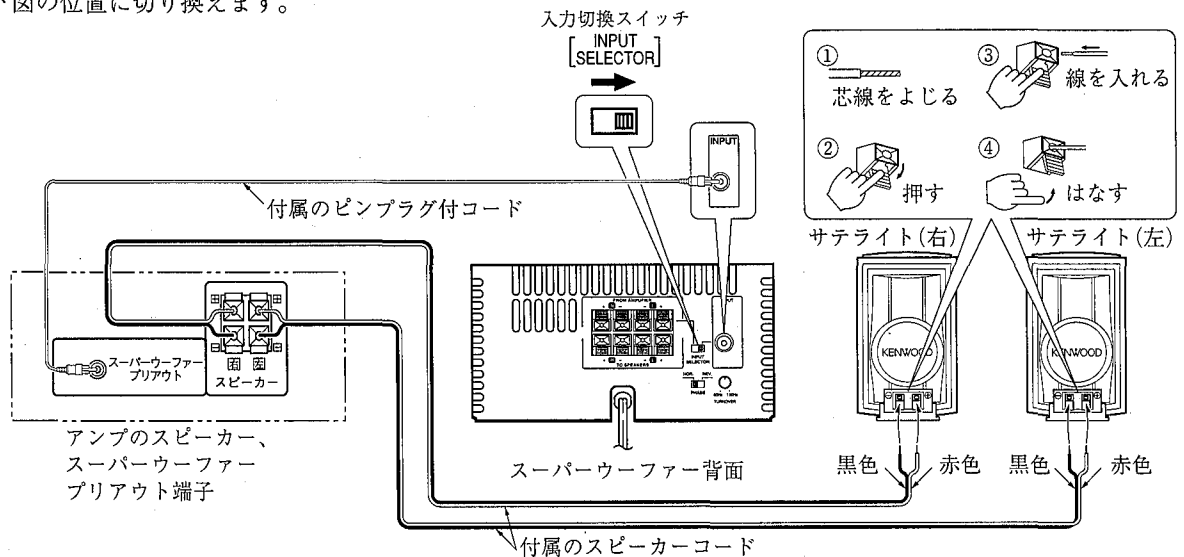
■ LS-SA9をスーパーウーファースプリアウト端子付のアンプに接続する場合

● スーパーウーファースの接続

1. 付属のピンプラグ付コードを使用して、スーパーウーファースの〔INPUT〕端子と、アンプの〔スーパーウーファースプリアウト〕端子を接続します。
2. スーパーウーファースの背面にある、入力切換スイッチ〔INPUT SELECTOR〕を下図の位置に切り換えます。

● サテライトスピーカーの接続

1. 付属のスピーカーコードには、赤色の線 (+) と黒色の線 (-) がありますので、アンプのスピーカー端子 (+) 側に赤色の線、(-) 側に黒色の線を接続してください。
2. サテライトスピーカーの入力端子は赤色のターミナルが (+)、黒色のターミナルが (-) です。付属のスピーカーコードの赤色の線を赤ターミナル、黒色の線を黒ターミナルに接続します。



■ LS-SA9をスーパーウーファースプリアウト端子のないアンプに接続する場合

● スーパーウーファースの接続

1. 付属のスピーカーコードを使用して、アンプのスピーカー端子とスーパーウーファースの〔FROM AMPLIFIER〕端子とを接続します。
2. スーパーウーファースの背面にある、入力切換スイッチ〔INPUT SELECTOR〕を下図の位置に切り換えます。

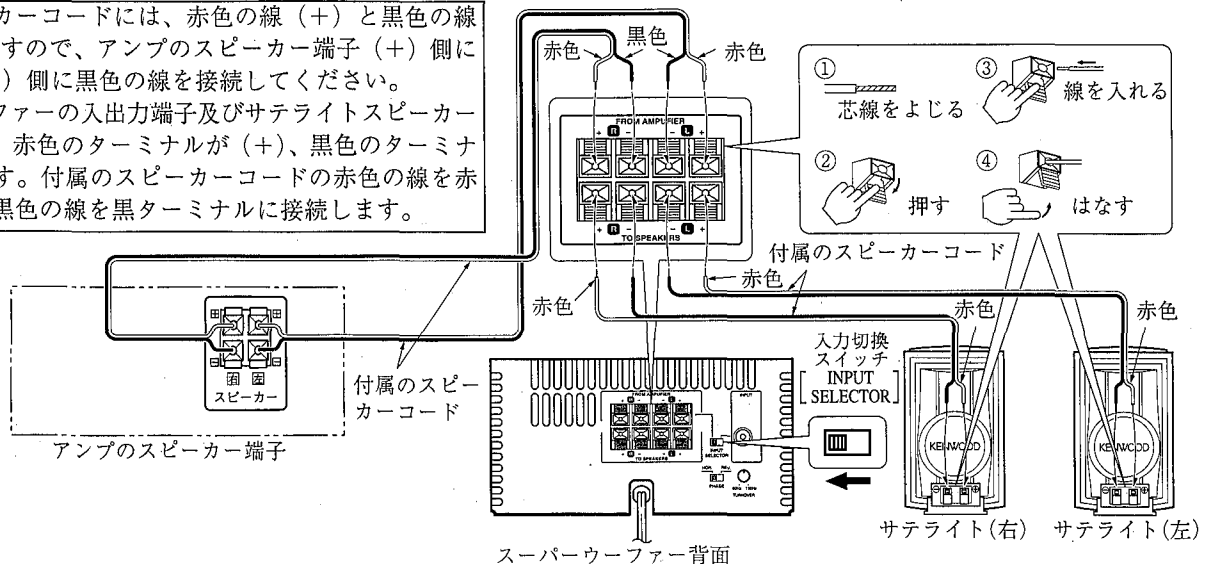
● サテライトスピーカーの接続

サテライトスピーカーの入力端子とスーパーウーファースの〔TO SPEAKER〕端子とを付属のスピーカーコード接続します。

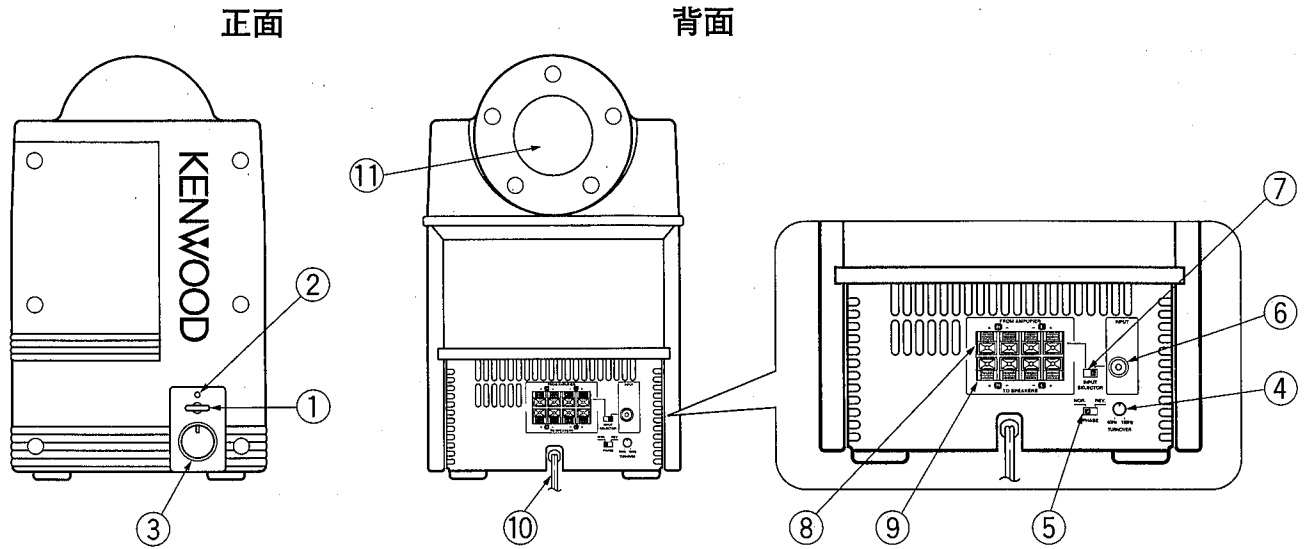
ご注意：

アンプとスーパーウーファースを接続するときは、必ず端子の十と十、一と一を接続してください。十と一を間違えて接続すると、アンプが故障することがあります。この接続方法は使用されるアンプが、BTL方式の場合は、故障の原因となりますので使用しないでください。

付属のスピーカーコードには、赤色の線 (+) と黒色の線 (-) がありますので、アンプのスピーカー端子 (+) 側に赤色の線、(-) 側に黒色の線を接続してください。スーパーウーファースの入出力端子及びサテライトスピーカーの入力端子は、赤色のターミナルが (+)、黒色のターミナルが (-) です。付属のスピーカーコードの赤色の線を赤ターミナル、黒色の線を黒ターミナルに接続します。



各部のなまえとはたらき (スーパーウーファー)



① ^{パワ}[POWER] 電源ボタン
スーパーウーファーの電源を入れたり ^{オン}[ON]、切ったり [OFF] します。

② POWER 表示灯
電源を入ると [ON]、赤色の表示が点灯し待機状態になり、数秒後、緑色の点灯にかわり動作状態になります (入力信号があれば音が出ます)。

●このスーパーウーファーは電源が [ON] 状態のとき、入力信号が約8分間無音状態がつづく则表示が赤色の点灯にかわり自動的に待機状態 (入力信号検知のため、微弱な通電を行っている状態) になります、またこの待機状態のときに入力信号を再び入れると表示が緑色にかわり自動的に動作状態になりスーパーウーファーから音が出ます (この時音楽の頭の部分がかけることがあります)。
電源を完全に切るときは、電源ボタンで [OFF] にしてください。

POWER 表示灯	状 態
緑色の点灯	動作状態
赤色の点灯	待機状態
無灯	電源 OFF

③ ^{ボリュームコントロール}[VOLUME CONTROL] 音量調節つまみ
スーパーウーファーから出る超低音の量を調節します。音量は、右にまわすと大きく、左にまわすと小さくなります。(サテライ

トスピーカーとの音量のバランスを調整するときに使用します)。

●スピーカーシステム全体の音量の調整はアンプのボリュームで調整します。

④ ^{ターンオーバー}[TURN OVER] ターンオーバー周波数調整つまみ
スーパーウーファーから出る音の高域成分をカットする周波数を調整するつまみです。スーパーウーファーを設置する部屋の状況に合わせて調整することができます。

⑤ ^{フェイズ}[PHASE] 位相切換スイッチ
このスイッチを切り換えてスピーカーの位相をかえることができます (NOR. が正相、REV. が逆相です)。設置する部屋の状況に合わせて好ましい低音域再生になる方を選んでください。

⑥ ^{インプット}[INPUT] 入力端子
⑦ ^{インプットセレクター}[INPUT SELECTOR] 入力切換スイッチ
⑧ ^{フロムアンプリファイヤー}[FROM AMPLIFIER] 入力端子
⑨ ^{トゥースピーカー}[TO SPEAKERS] サテライトスピーカー出力端子

アンプの信号出力条件に応じて操作、接続します。くわしくは接続のしかたをお読みください。

⑩ 電源コード
電源プラグを家庭用 AC100V のコンセントに接続します。

⑪ ダクト
スーパーウーファーの超低音が、ここから放射されます。壁から 10cm 以上離して設置してください。

故障と思われる症状ですが……

■調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	処 置
●音がでない。	●接続コードがしっかり差し込まれていない。 ●アンプの SUPER WOOFER ボタンが押されていない。 (アンプに SUPER WOOFER ボタンがある場合)	●しっかり接続し直してください。 ●アンプの SUPER WOOFER ボタンを押してください。
●スーパーウーファー部のみ音が異常に小さい。または大きい。	●スーパーウーファーの音量調節つまみの設定が適切でない。	●7Pの③に従って、音量調節をしてください。

定 格

ご注意：

これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更することがあります。

サテライトスピーカー部

形 式	防磁形 (EIAJ) スピーカーシステム
エンクロージャー	密閉型 ABS樹脂・グレー塗装
使用スピーカー	フルレンジ 80 mm コーン形
定格インピーダンス	6 Ω
最大入力	30 W
定格入力	15 W
出力音圧レベル	85 dB/W (1 m)
再生周波数帯域	170 Hz ~ 20,000 Hz
外形寸法	
スピーカーのみ	(幅) 115 × (高さ) 195 × (奥行) 73 mm
スタンド設置時	(幅) 168 × (高さ) 309 × (奥行) 136 mm
正 味 質 量	
スピーカーのみ	0.8 kg
スタンド設置時	1.2 kg

付 属 品	スピーカーコード (長さ 3 m) 4 本
	ピンプラグ付コード (長さ 3 m) 1 本
	スタンド 2 本
	取付金具セット 1 セット

スーパーウーファー部

形 式	アンプ内蔵、防磁形 (EIAJ) スーパーウーファーシステム
[アンプ部]	
実用最大出力	50 W (EIAJ, 6 Ω)
周波数特性	40 Hz ~ 170 Hz (ターンオーバーツマミが [※] 150 Hz のとき)
ターンオーバー切換	60 Hz ~ 150 Hz 連続可変
フェイズ切換	NORMAL, REVERSE
入力感度	ライン入力端子 140 mV/47 kΩ スピーカー入力端子 0.9 V/4.7 kΩ
電 源	AC 100 V, 50/60 Hz 共用
定格消費電力	34 W (電気用品取締法に基づく表示)

[スピーカー部]

エンクロージャー	フロントロード方式(背面ダクト放射形)、フロアタイプ
使用スピーカー	120 mm コーン型
定格インピーダンス	6 Ω
外形寸法	(幅) 222 × (高さ) 382 × (奥行) 363 mm
正 味 質 量	9.3 kg

※「防磁型 (EIAJ)」とは、(社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

保証書とアフターサービス

1. 保証書—この商品には、保証書がついています。必ず所定事項の記入、および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間—お買いあげの日から1年です。正常なご使用状態で、この期間内に万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買いあげ販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買いあげ販売店、またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能

が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. スピーカーシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. なおアフターサービスについてご不明な点は、お買いあげ販売店、またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

スピーカーシステムを修理のためにお買いあげの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、スーパーウーファー、サテライトスピーカーのいずれかのスピーカーを修理を依頼される場合でも、スーパーウーファー、サテライトスピーカー両方のスピーカーともお持ちください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京)電話 (03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9(ケンウッド青葉台ビル)

(大阪)電話 (06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)

●アフターサービスについては、お買いあげの販売店か、または別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。